

# 医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	小児鼠径ヘルニア術後の患者の後ろ向き検討
研究責任者	小児外科 田中 圭一郎
研究実施体制	責任者が一人で実施する予定です。
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2024 年 12 月 31 日
対象者	2006 年 1 月から 2022 年 12 月までの間に聖隷浜松病院小児外科で手術を受けた鼠径ヘルニア(陰嚢水腫を含む)の患者さんです。
研究の意義・目的	小児鼠径ヘルニアの術式として、従来からある open 法と腹腔鏡下ヘルニア修復術(LPEC 法)の2種類があります。いまだにどちらが優れているか議論されております。当院では、もともと従来からの open 法で行っていましたが、2009 年より LPEC 法を導入しました。当院で手術を行った症例を解析し、両術式を比較します。
研究の方法	2006 年 1 月から 2022 年 12 月までの間に聖隷浜松病院小児外科で手術を受けた鼠径ヘルニア(陰嚢水腫を含む)の患者さんのデータを使用します。 データを匿名化したうえで、年齢・性別・術式・手術時間・合併症の有無・再発率などのデータを使用し、両手術を比較します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 小児外科 (氏名)田中 圭一郎 TEL:053-474-2222(代表) 小児外科外来 9:00~17:00 平日